

目 次

序 章 1

1. 本書を読むにあたって 1
2. 本書の初出と構成 7
3. 謝 辞 11

第 1 章 伊豆大島独立構想と1946年暫定憲法 14

1. はじめに 14
2. 1946年1月29日 GHQ 覚書 16
3. 覚書を受けた上での伊豆諸島の反応 18
4. 伊豆大島憲法案 20
5. 伊豆大島憲法に与えたと思われる様々な影響 31
6. 結 語 45

第 2 章 地方自治法下の村民総会の具体的運営と問題点 52 ——八丈小島・宇津木村の事例から

1. はじめに 52
2. 地方自治法下の町村総会規定 55
3. 宇津木村の村民総会 57
4. 元・村民総会会長に聞く 68
5. 村民総会設立の出発点 75
——法制度なき村政（名主制度）はなぜ設けられたのか？
6. 結 語 82

第 3 章 公職選挙法 8 条への系譜と問題点 90 ——青ヶ島の事例をきっかけとして

1. はじめに 90

2. 公職選挙法8条と公職選挙法施行令 96
3. 公職選挙法8条制定時の意図 97
4. 公職選挙法8条へ至る系譜 100
5. 戦前の伊豆諸島の島嶼制度と選挙権 105
6. 結語 109

第4章 「過疎－無人島化」から考える法・政策上の争点——115 ——八丈小島全島民引揚げ事例を参考にして

1. はじめに 115
2. 無人島化とは 117
3. 八丈小島が無人島化に至る経緯 120
4. なぜこのような無人島化が生じたのか 124
——『学校日誌 宇津木小中学校』から
5. 八丈町議会で議論された八丈小島の事例 128
6. 出張所廃止の件 130
7. 当該地域出身議員の存在 136
8. 結語 149

第5章 小笠原村村政審議会の概要と問題点——160 ——小笠原諸島『復帰』後の小笠原村政に関する一考察

1. はじめに 160
2. 村政審議会に関する法令とその制定経緯 162
3. 条例等に描かれる村政審議会 170
4. 様々な資料から読み取れる村政審議会 175
5. 母島と村政審議会 189
6. 五人委員会 194
——村政審議会との連続性と断絶性
7. 当時の印象や評価 199
8. 結語 213